

3. グリーン・アクション

グループ名 ・代表者名	グリーン・アクション アイリーン・美緒子・スミス	助成金額	20万円
連絡先など	〒606-8203 京都市左京区田中関田町 22-75-103 Tel:075-701-7223		
助成のテーマ	原子力は温暖化対策にならない むしろ新規原子力は温暖化を悪化させる		

【調査研究・研修の概要】

- この調査研究の目的は、「原子力は温暖化問題の解決には繋がらない」と「新基原子力はむしろ温暖化対策に逆効果を与えてしまう」という情報を日本に普及させ、日本国内に議論を巻き起こすことであった。これを若い活動家を育てる仕組みで活動を行う計画であった。
- 前年度に集めた資料・情報を元に、若い活動家にも声をかけ、研究者・活動家と話し合い、参加を働きかけた結果、この問題の多方面への普及活動がある程度できたと思われる。
- 具体的には、与党の政策形成プロジェクト・国の役人・各地の市民層・学生・学会などに対して、温暖化と原子力というテーマで話をすることができた。

【調査研究・研修の経過】

2010年 4月 14日 第4回『新しい公共』づくりをめざした市民と民主党の政策形成プロジェクト
テーマ：「気候変動問題について」 民主党本部ホール

2010年 6月 11日 立命館大学 講義
タイトル：「海外の資料から明らかになる
原子力は温暖化対策にならない むしろ新規原子力は温暖化を悪化させる」

2010年 10月 17日 京都 同志社大学 講演 タイトル：「原発者温暖化につながらない、むしろ逆効果」
主催：エントロピー学会主催全国シンポジウム 統一テーマ：「低炭素社会」を問う

【今後の展望など】

3.11の福島原発事故以降、エネルギー政策をめぐる議論が活発化している。今こそ、今年度作成した原発コストに関するリーフレットや、マイケル・シュナイダーの講演録を始めとする、高木基金の支援によって得られた様々な資料・情報を多くの人々とシェアしたい。そして新しいエネルギーの選択を国主体ではなく、市民が中心となって進めていけるよう動きたい。それには、各地での関係作りのための費用、講演会主催などより多くの経費が必要と思われる。

会計報告書の概要 (金額単位：千円)			充当した資金の内訳		
支出費目	内 訳	支出金額	高木基金の 助成金を充当	他の助成金 等を充当	自己資金
旅費	京都・東京往復等	101	101		
資料費		5	5		
会議費	イベントの賛同・会場費	4	4		
印刷費	コピー代	4	4		
外部委託費	翻訳・レイアウトなど	125	76		48
その他	講演会参加費など	7	7		
合 計		248	200		48

参考文献(ウェブサイトや書籍、成果物など)

- 週刊金曜日(793号)掲載 タイトル:いつまで続く?「温暖化防止に貢献する原発」というウソ
- 雑誌『世界』2011年11月号 岩波書店 に、マイケル・シュナイダー氏の院内集会講演録が掲載された。
タイトル:「原子力のたそがれ」
- リーフレット発行 タイトル:「原子力発電は安い」は嘘。その理由は?
- 2010年度 循環ワーカー養成講座記録集 『循環型社会と原子力発電』
<http://www.nord-ise.com/junkan/books3.html>

原子力は温暖化対策にならない

～むしろ新基原子力は温暖化を悪化させる～

調査研究の目標：

前年度に集めた資料・情報を元に、若い活動家にも声をかけ、研究者・活動家と話し合い、参加を働きかける。

伝える対象：

1. エネルギー・温暖化問題に取り組む研究者とNGO
2. 反原発運動になつたNGO
3. マスコミなどを通じた社会一般
4. 議員などの政策決定者

「原子力は温暖化問題の解決には繋がらない」と「新基原子力はむしろ温暖化対策に逆効果を与えてしまう」という情報を日本に普及させ、日本国内に議論を巻き起こす。

これを若い活動家を育てる仕組みで活動を行う。

アイリーン・美緒子・スミス (グリーン・アクション)

2011年7月9日(土) 高木基金発表会

いっままで続く? 「温暖化防止に貢献する原発」というウラ
週刊金曜日(793号)掲載

2010年4月14日 民主党本部ホール 第4回「新しい公衆づくりをめざして市民と民主党の政策形成プロジェクト テーマ: 気候変動問題について」

資料は、グリーン・アクションのホームページからダウンロード可能です。

様々な文献や資料を読み解いてゆき、今回のような原子力のことについても、積極的に自分なりの見解を導き出していくことが重要なのだらうと感じました。

間違つた知識が、今後の環境問題を考える上で大きな邪魔になると思います。電力会社や政府は、原発の隠された危険性をもっと公開しなければならぬと思います。

利益などにとわれず、いって本当に役に立つものか、という吟味ができていないのではないかと思います。

僕は原発が必要だと思つていました。ある程度問題があることは分かつていたつもりで、エネルギー需要のために必要だと思つていました。しかし、エネルギー需要の為だと言えぬものではないと思つていました。

立命館大学 タイトル: 「海外の資料から明らかに 原子力は温暖化対策にならないむしろ新規原子力は温暖化を悪化させる」での学生の感想より

今までの日本で起こった様々な事故をみてもそうですが、なぜ安全のことを第一に考えないのか、とても疑問に思います。

なんとなく信じることの怖さが分かりました。電力会社や政府に危険性などを公開してほしいですが、その情報を読み解く能力も大事だと思いました。

やめるといふ努力は究極の理想です。現実的に止めるために具体的方向性を見いだしていかねばなりません。

国民の安全が企業の利益と比較されるようではたまったもんじゃありません。

立命館大学 タイトル:「海外の資料から明らかになる 原子力は温暖化対策にならないむしろ新規原子力は温暖化を悪化させる」での学生の感想より

経済学から見た

原発は温暖化対策になるの？

—— 本当の話 ——

原発は温暖化対策に有効であり、温暖コストも一般火力と同等とされています。それは本当なのでしょうか？ 本誌「原発」に詳しく、温暖化対策を再考可能なエネルギーの一つと比べながら、考えてみましょう。

2010年6月12日(土) 15:40-17:45

場所 | 多目的ホール 2F 202号室 (京都府京都市中京区) 京都市中京区
TEL/FAX | 075-724-4832 京都市中京区
料 | 本誌1冊: 800円 学生: 300円
申し込み | 本誌1冊: 800円 学生: 300円
申し込み | 本誌1冊: 800円 学生: 300円
申し込み | 本誌1冊: 800円 学生: 300円

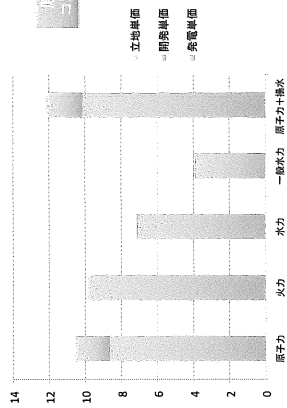
主催 | 立命館大学国際関係学部 国際経済学
協賛 | 立命館大学国際関係学部 国際経済学
協賛 | 立命館大学国際関係学部 国際経済学
協賛 | 立命館大学国際関係学部 国際経済学

原発は温暖化対策になるの？ 経済学から見た本当の話

立命館大学国際関係学部

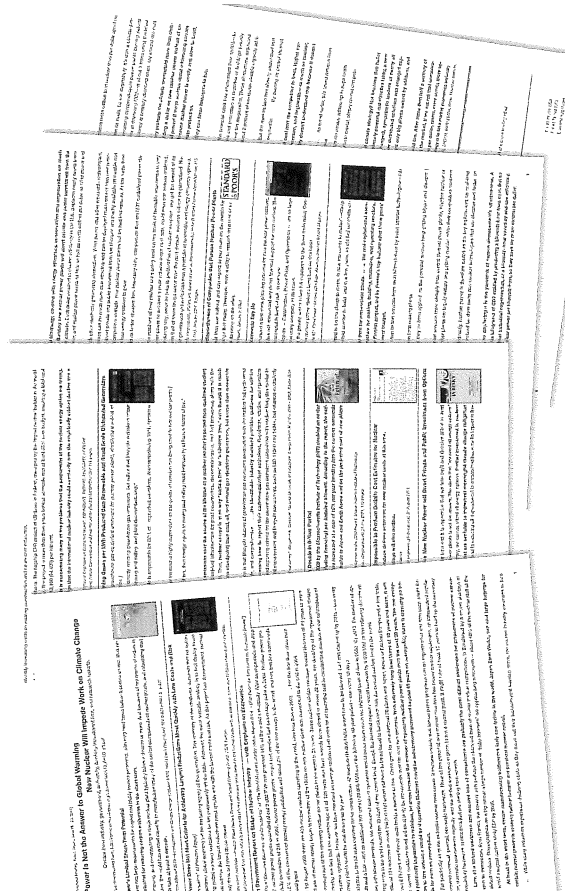
大島 聖一

電源別実際の発電コスト (1970-2007年度)



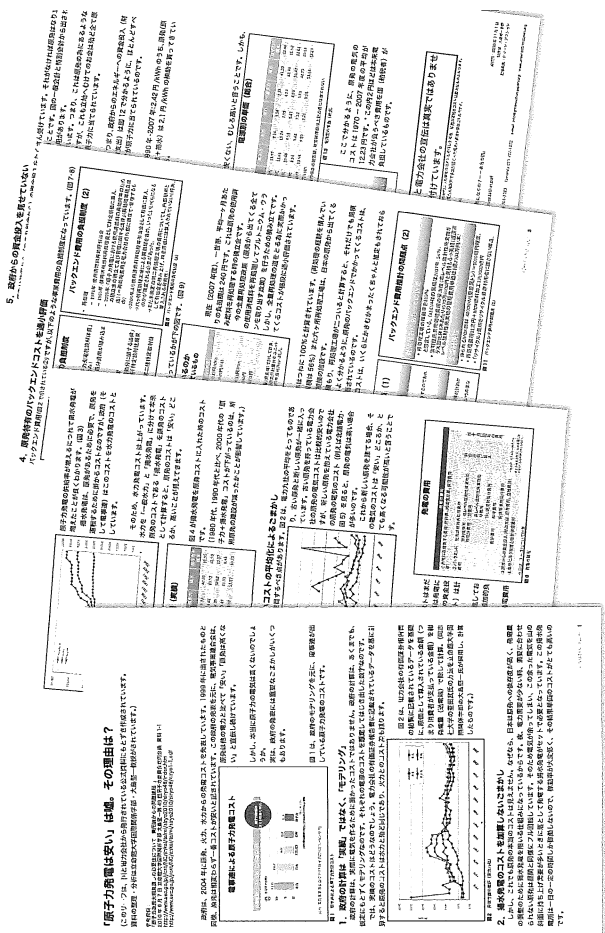
資料は、グリーン・アクションのホームページからダウンロード可能です。

3. グリーン・アクション



6月19日 福井県 APECエネルギー大臣会議

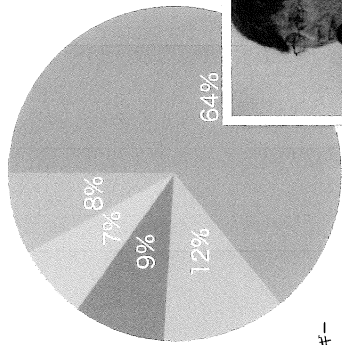
資料は、グリーン・アクションのホームページからダウンロード可能です。



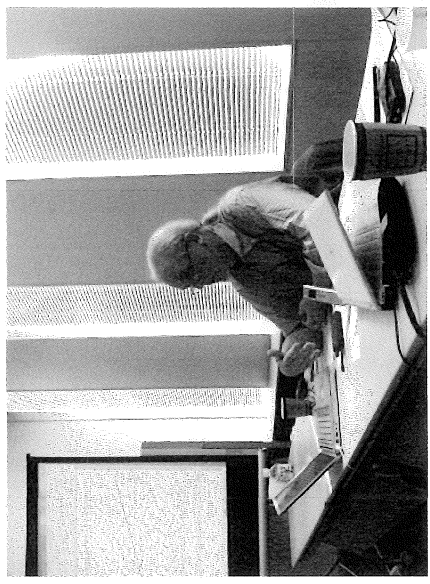
リーフレットは、グリーン・アクションのホームページからダウンロード可能です。

循環ワーカークー養成講座「循環型社会と原子力発電」
「原発は温暖化防止に役立つか？」

日時：2010年7月9日（金）
主催：循環型社会研究会



原子力
再生可能エネルギー
石油
石炭
天然ガス
その他

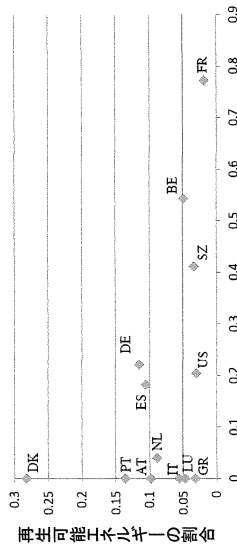


マイケル・シュナイダー氏の報告会
「フランスとドイツのエネルギー政策の分析から学ぶこと
自然エネルギーと原子力の両立は可能か？」

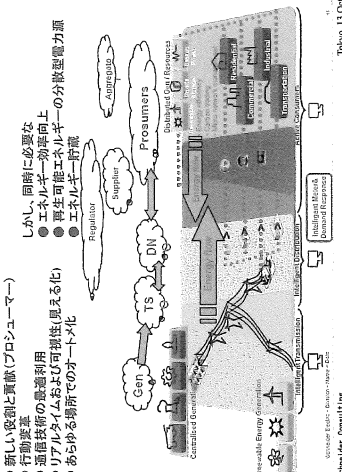
10月13日 国会議員会館



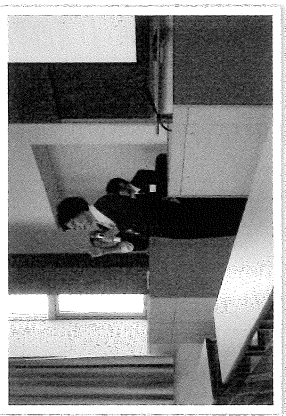
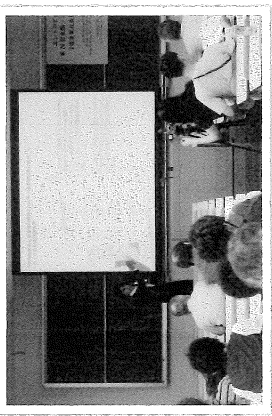
締め出される再生可能エネルギー：
水力以外の再生可能エネルギーvs原子力



もっとスマートな電力網(グリッド)とそれに伴う新しい要件

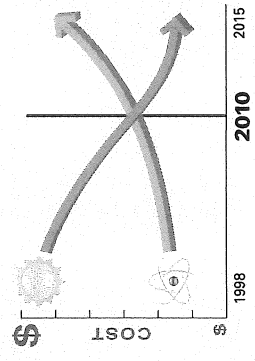


資料は、グリーン・アクションのホームページからダウンロード可能です。



エントロピー学会主催の全国シンポジウム『低炭素社会』を問う
「原発は温暖化対策にならないむしろ逆効果」
2010年10月16日(土) 会場：同志社大学新町キャンパス 随光館

Solar and Nuclear Costs —
The Historic Crossover
Solar Energy is Now the Better Buy



John O. Blackburn
Sam Cunningham
July 2010
Prepared for NC WARN